

後期ユダヤ宣教：イエスは弟子たちにパリサイ人の真似をしないように警告する

パリサイ人の偽善

ルカ11.37-41

37 イエスが話し終えられると、あるパリサイ人がイエスを食事に招いた。イエスは中に入り、食卓に着かれた。38 しかし、パリサイ人は、イエスが食事の前にまず身を清めなかったことに気づいてショックを受けました。

39 すると主は彼に言われた。

「ところで、あなた方パリサイ人は、杯や皿の外側をきよめる習慣があるが、内側は貪欲で満たされており、ゆすりや不正行為を行っている。40 愚かな人たちよ！外側を作った者は内側も作ったのではないですか？

41」見よ、あなたの内にあるものについて、私はあなたに命じる。貧しい人々に惜しみなく施しをなさ。そうすれば、あなたのすべてが清くなる。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ユダヤのパリサイ人の家で
タイムライン	10月または11月（33、34か月目）
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ宣教
	D. イエスはユダヤで宣教し、弟子たちを訓練する
	2. イエスは弟子たちにパリサイ人の真似をしないように警告する
タイトル	iv. パリサイ人の偽善

コメント：

デイリー・ジーザス・ニュース #183

今日の聖書朗読では、イエスがパリサイ人に対して示した無条件の愛が二つの方法で表現されていることがわかります。

まず、イエスはあるパリサイ人に食事に招かれたとき、喜んでその申し出を受け入れました。イエスはその男の家に入り、彼と、そこにいた他のパリサイ人たちと交わりを持たれました。彼らの心に潜む悪を知っていたにもかかわらずです。

これは神の公平な愛の輝かしい実証です。イエスは、社会的に最も忌み嫌われ、追放された罪人たちの友でした。同様に、イエスは、最も憎まれ、殺そうとした人々とも交わりを持ちました。このように無条件に愛せるのは神だけです。

第二に、イエスの無条件の愛は、聞きたくない人々にも真実を語るように促しました。すべての人との交わりに開かれた姿勢と同様に、真実を語ることは、イエスが敵をどれほど深く気遣っていたかを示しています。パウロが書いているように、「**愛は悪を喜ばず、真実を喜びます。**」(コリント人への手紙一 13:6)

イエスはパリサイ人の中に住む悪に公然と立ち向かいました。それは、彼らの利益のために言動しようと絶えず努めたからです。それが愛です。

イエスは今日の朗読箇所でも、それに続く「六つの災い」(明日の朗読箇所)でも「偽善者」という言葉は用いませんでした。が、パリサイ人に関するイエスの描写は偽善に焦点が当てられています。(ガリラヤでの最後の数ヶ月間、イエスがパリサイ人の偽善について語った内容については、DJN #125をご覧ください。) イエスは地上での最後の日々(マタイ23章)にパリサイ人と律法学者に対して同じ非難を浴びせた際、この言葉を6回繰り返しました。「**律法学者とパリサイ人よ、偽善者たちよ、あなた方は災いである!**」

今日の朗読では、イエスは食事の前に手を水に「浸す」(ルカが用いたギリシャ語はしばしば「洗礼を施す」と訳されます)ことをしませんでした。これはイエスを招いた主人に衝撃を与えました。パリサイ人にとって、神を愛し、義にかなった生活を送るということは、ラビたちが定めたすべての儀式上の規則を厳格に守ることでした。

彼らは生活の表向きは清廉潔白を保っていました。しかし、未亡人の家をほとんど無一文で買い取ることに何の罪も感じませんでした。すぐに転売して莫大な利益を得るためです。彼らは金銭をこよなく愛し、貪欲に突き動かされていました。これがあらゆる悪へと繋がりました。

パリサイ人は、人々が見て感嘆するような公共の場であれば施しをしましたが、匿名で施しをすることは決してありませんでした。彼らは強欲で、ゆすり行為を働いたり、抵抗できない弱者を利用したりしました。彼らは当時最も価値の低い硬貨で公に献金をし、たくさんの硬貨を献金箱に投げ入れるという見せかけをしました。彼らの動機は惜しみない愛ではなく、プライドでした。

イエスは、パリサイ人たちが内面では邪悪な欲望と罪深さに満ちているのに、外面ではあらゆる儀式を厳格に守ることに気をとられていることを見抜いておられました。それはすべて茶番劇でした。彼らの外面的な行いは、内面の闇を覆い隠すだけのものでした。まさに偽善です。

デイリー・ジーザス・ニュース #183

応用：

誠実さは、私たちの内なる価値観と外面的な行動の一貫性を保ちます。偽善は、私たちの真の内なる価値観や動機と、外面的な行動との間に、意図的に隠蔽、つまりギャップを生じさせます。最初は、私たちはそのギャップに気づいています。しかし、隠蔽し続けると、やがて自分の罪深さに完全に盲目になってしまうのです。だからこそ、イエスは愛をもって、その点について率直に語られたのです。偽善における私たちの盲目さに真摯に向き合うことこそが、それを解決する唯一の方法です。イエスはまさにそれをなさったのです。

私たちは皆、キリストの姿へと成長する過程にある罪深い人間であるため、ある程度は個人的な偽善と闘っています。誰もが常に自分の最高の理想と完全に一致しているわけではありません。イエスは私たちを愛しておられ、私たちを苦しめるものから解放するために真実を語ってくださいます。イエスの懲らしめ、叱責、そして矯正を受け入れることこそが、偽善から自由へと抜け出す唯一の道なのです。

神の叱責と懲罰はあなたに対する神の無条件の愛から来るものであることを常に覚えておいてください。

あなたが最も苦しんでいるのはどんな種類の偽善ですか？より効果的にそれと戦うために、何ができますか？